

プレスリリース

朝来市報道記者発表資料

令和8年9月3日

奥多々良木発電所で約6か月貯蔵した地酒を初出庫 地域共生から生まれた「奥多々良木発電所 貯蔵酒」

一般社団法人あさごツーリズムビューローは、関西電力株式会社、田治米合名会社、此の友酒造株式会社と連携し、令和8年4月2日から奥多々良木発電所施設内で貯蔵してきた日本酒を、10月1日（木）に初めて出庫します。

地域の電力インフラと地元酒蔵を結び、新たな地域価値を生み出すことを目的に始まった取り組みで、出庫後は各酒蔵が酒の状態を確認し、商品化を進めます。

【本プロジェクトのポイント】

◆地域のインフラと朝来の地酒をつなぐ地域共生プロジェクト

あさごツーリズムビューローが企画・調整を担い、関西電力株式会社が発電所施設内の貯蔵場所を提供。田治米合名会社と此の友酒造株式会社の二蔵が参画し、四者で取り組んでいます。

◆4月2日に計240本を入庫、10月1日に初出庫

両酒蔵それぞれ120本を入庫し、今回初めて出庫します。熟成度合いや、蔵びらきイベント（10/10開催）での需要予測を勘案しながら、継続貯蔵も視野に入れて出庫する数量を決定します。

◆熟成による変化は、出庫後に蔵元が確認

貯蔵場所は年間を通じて温度変化が極めて少なく、外光の影響を受けにくい発電所施設内です。味わいや香りの変化については、出庫後に各酒蔵が確認・評価いたします。

◆黒川ダム・多々良木ダムをモチーフに商品化

田治米合名会社「竹泉」は黒川ダム、此の友酒造株式会社「但馬」は多々良木ダムをモチーフとした統一感のあるラベルを採用予定です。いずれも奥多々良木発電所を構成する施設で、酒と発電所の物語を商品デザインでも伝えます。

◆関西電力株式会社は「貯蔵場提供協力」として参画

地域社会への貢献の一環として貯蔵場所の提供を受けています。出庫後の商品販売や今後の継続については、蔵元による評価や販売後の反応を踏まえ、関係者で検討していきます。

- 1 実施主体： （一社）あさごツーリズムビューロー
- 2 協 力： 関西電力株式会社、田治米合名会社、此の友酒造株式会社
- 3 開催日 ： 令和8年10月1日（木）
- 4 時 間 ： 13時30分集合（あさご芸術の森美術館駐車場）／14時開始
- 5 場 所 ： 関西電力株式会社 奥多々良木発電所（朝来市多々良木）
- 6 出庫予定量： 蔵びらきでの引き合い見込みに応じて
- 7 継続貯蔵： 未定
- 8 内 容 ： プロジェクト概要説明、貯蔵酒の出庫作業、出庫セレモニー、フォトセッション、個別取材等
- 9 取材申込： 事前申込制。下記「問合せ先」へご連絡ください。9/18（金）まで
- 10 集合場所： あさご芸術の森美術館駐車場
- 11 注意事項： 発電所施設内への入場を伴うため、安全管理上の注意事項に従っていただきます。施設内には暗所や足元が濡れている可能性のある箇所があります。長靴の着用をお勧めします。

◇ 記事について問合せ先 （一社）あさごツーリズムビューロー 担当：大坂、北村
電話 079-668-9177
ホームページ <https://asago-kanko.com/>
メールアドレス y_osaka@ikuno-kankou.jp